

2013年1月作成

服用に際し、この説明書を必ず読むこと。また、必要なとき読めるように大切に保管すること。

桂枝茯苓丸料NP

第2類医薬品

ケイ シ ブク リョウ ガン リョウ
桂枝茯苓丸料 NP



使用上の注意



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。
 - 1) 医師の治療を受けている人。
 - 2) 妊娠又は妊娠していると思われる人。
 - 3) 体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）。
 - 4) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	食欲不振

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症状
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。
下痢
4. 1ヵ月位服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること。

効能効果

比較的体力があり、ときに下腹部痛、肩こり、頭重、めまい、のぼせて足冷えなどを訴えるものの次の諸症：月経不順、月経異常、月経痛、更年期障害、血の道症^{注)}、肩こり、めまい、頭重、打ち身（打撲症）、しもやけ、しみ、湿疹・皮膚炎、にきび。

〈効能効果に関連する注意〉

注) 血の道症とは、月経、妊娠、出産、産後、更年期など女性のホルモンの変動に伴って現れる精神不安やいらだちなどの精神神経症状および身体症状のことである。

用法用量

年令	1日量
大人（15才以上）	本品1包（1日量）に水約600mLを加えて、半量ぐらいまで煎じつめ、煎じかすを除き、煎液を3回に分けて食間に服用する。
7才以上 15才未満	大人の煎液の2／3量
4才以上 7才未満	大人の煎液の1／2量
4才未満	服用しないこと

〈用法用量に関連する注意〉

1. 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。

成分分量

本品1包(1日量)中

成 分	分量
ケイヒ	4 g
ブクリヨウ	4 g
ボタンビ	4 g
トウニン	4 g
シャクヤク	4 g
全 量	20 g

保管および取扱い上の注意

- 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しいところに保管すること。
- 小児の手のとどかないところに保管すること。
- 外袋は、ミシン目にそってハサミ等で開けること。
- 未使用分はもとの袋にもどし、開封口をきちんと二重に折り曲げてテープ等でとめて冷暗所に保管すること。
- 他の容器に入れかえないこと（誤用の原因になったり品質が変わる）。
- 生薬を原料にしているため、製品により多少色調やにおいが異なることがありますが薬効に変わりありません。
- 外袋には、防虫・防カビのために脱酸素剤を封入していますが、これを煎じ袋と一緒に煎じたり、食べたりしないように注意すること。
- 煎じ袋は破かずには、そのまま煎じること。
- 本品を煎じる際は、熱湯に注意すること。
- 本品は、必ず一日分ずつ煎じ、数日分まとめて煎じないこと。
- 表示の使用期限を過ぎたものは服用しないこと。

〔問い合わせ先〕

- 購入した薬局・薬店
- 日本製薬株式会社 お客様相談窓口 電話：03-3837-0987
受付時間：午前10時～12時、午後1時～5時
(土・日・祝日を除く)

製造販売元

 日本製薬株式会社

東京都台東区上野3-23-9

副作用被害救済制度の問い合わせ先

(独)医薬品医療機器総合機構 <http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html> ☎ 0120-149-931